

性能検査

型式検定

技能講習等

クレーン・移動式クレーン・デリック・エレベーター・ゴンドラ

クレーン・移動式クレーンの過負荷防止装置

クレーン・移動式クレーン・玉掛け等の技能講習、実技教習及び安全教育

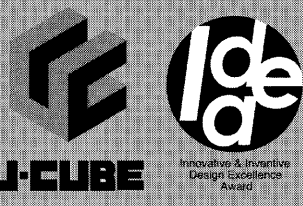
厚生労働大臣 登録検査・検定機関 都道府県労働局長 登録教習機関

 一般社団法人 日本クレーン協会

〒136-0082 東京都江東区新木場1-11-7 TEL 03(5569)1911 FAX 03(5569)1916

<https://cranenet.or.jp>

UNIC



2025年 日刊工業新聞社
（第55回）機械工業デザイン賞IDEA
日本デザイン学会賞受賞

【受賞機種】
URW7035C4-HC1
4階建て住宅に対応
（配伏ブーム3段折曲ブーム5段）
URW7055C4-HC1
6階建て住宅に対応
（配伏ブーム5段折曲ブーム5段）

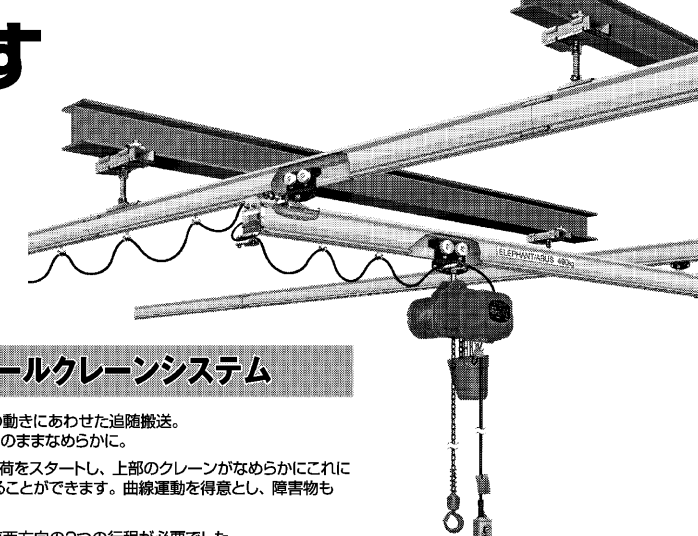
U-CUBEはその卓越した機動性で、
工期短縮、コスト削減、
地域社会との共存に貢献します。

狭小地住宅施工に
革命



URW7035C4-HC1

後付け設置が可能です
— どんな場所にも、いつでも —



象印 ^{「けい」} 軽レールクレーン
ELEPHANT/ABUS HBシステム
☆安全で快適な職場をローコストで実現

「HB110S」「HB150S」「HB190S」「HB250」軽レールクレーンシステム

●軽レールの「なめらか」感覚
●「フリーなハンドリング」の威力
●「手押し式自在クレーン」の真髄

シンプルで軽質なクレーン構成。人間の動きにあわせた追従搬送。曲線的な動きも、3次元の動きも、思いのままなめらかに。軽レールクレーンなら、ます小さな力で荷をスタートし、上部のクレーンがなめらかにこれに追従。停止時も荷揺れを最小限に抑えることができます。曲線運動を得意とし、障害物も避けて通ることが出来ます。今までのクレーン操作なら南北方向と東西方向の2つの行程が必要でした。ところが「軽レールクレーン」は最短1行程の斜め移動が行えます。

高強度熟処理チェーン専門メーカー
象印 ^{「けい」} チェンブックス 株式会社
ホームページ <https://www.elephant.co.jp>



貯留ヤード画像解析システム搭載
自動クレーン



省人化、無人化を実現

自動クレーン「ADLER」は、ヤード内に貯留されている対象物の積載状態を建屋上部に設置された画像センサーで確認し、排出に最適な部位を瞬時に解析します。その情報は制御システムの指令により天井クレーンが最適な動作で掴み、対象物を指定された位置に自動で供給します。

ウエノテックス株式会社

本社 〒949-3298 新潟県上越市柿崎区柿崎7396-10
TEL 025-536-2266 (代) / 025-536-2266 (技) FAX 025-536-9836
東京営業所 TEL 03-6632-7966 大阪営業所 TEL 06-4805-8750
URL <https://www.uenotex.co.jp> E-mail daihyo1@uenotex.co.jp



第45回 全国クレーン安全大会

10月9日～10日／岐阜市

第45回全国クレーン安全大会が10月9、10の両日、岐阜市の岐阜市民会館で開かれる。主催は日本クレーン協会。

●10月9日 総合集會
9日は優良クレーン関係業務従事者などの表彰が行われるほか、厚生労働省労働基準局安全衛生部の安全課長による「安全行政の課題と今後の展開」をテーマにした講演、社会安全研究所の芳賀繁技術顧問による「新しい防災防止のマネジメント」「『失敗を減らす』から『成功を増やす』へ」をテーマにした特別講演が行われる。

●10月10日 製造者・使用者の集い
10日は建機メーカーやゼネコン、建機レンタル会社による研究発表が行われる。10時からは清水建設生産技術本部の吉田昌弘氏が、「高機能大型工事用エレベーター『SEECER5000RS』の新規開発について」をテーマに講演する。同社が開発した高機能大型工事用エレベーターの特徴と要素技術、生産性向上に向けた取り組みを紹介する。10時35分からは住友重機械建機クレーン開発本部の本庄浩平主任技師が、「クローラークレーン用俯瞰映像合成モニターの紹介」を行う。同社が開発した俯瞰映像合成モニターは、クレーン本体と周囲に存在する人や障害物との衝突事故防止を目的としており、建機への普及が進んでいる。同装置の適用事例と同社の取り組みで。



第44回全国クレーン安全大会
主催 一般社団法人 日本クレーン協会 後援 厚生労働省

「安全行政の課題と今後の展開」
「新しい防災防止のマネジメント」
「『失敗を減らす』から『成功を増やす』へ」

全国クレーン安全大会では表彰式や研究発表が行われる（前回開催）
▲組みを紹介する。11時20分からはエスシー・マシンナリー生産支援本部開発運用部の栗木野浩一部長が「GNSS全球測位衛星を利用した衝突警報装置『クレーンアシスト』」の紹介を行う。建機レンタル会社である同社が開発した衝突危険警報システムについて発表する。11時55分からは加藤製作所設計第1部の梅野隆次部長が「世界初ハイブリッドラフターと外部電源ユニットの紹介」を行う。ディゼルエンジンと電動モーターを併用したハイブリッド式ラフタークレーンについて紹介する。西日にも参加費は無料。申し込みは最寄りの日本クレーン協会各支部へ。申し込みは30日まで。

9月30日 クレーンの日

ポスターで安全推進

日本クレーン協会とボイラークレーン安全協会はそれぞれ「クレーンの日実施要綱」を作製・配布し、労働災害につながる職場の危険有害要因を明確にして、改善に取り組むことを促している。クレーンの日には実施要綱を基に、作業における確認点をつひとつチェックして、日ごとの作業を改めて見直したい。また両協会では毎年、クレーンの日に合わせてポスターを作製しており、写真と標語を募集している。今年の日本クレーン協会の標語は「吊るす責任 支える誇り クレーンが運ぶ 確かな安全」。

作業一改めてチェック

ボイラークレーン安全協会は「確実な吊り上げ操作で、無災害を標語に採用し、プラント建設のため大きなタンクを吊り上げるクレーンの写真を選んだ。これらのポスターを作業現場などに掲示することで注意喚起を促し、安全活動を推進する。

建設業労働災害防止協会によると、トラッククレーンの転倒による死亡災害が多く発生しており、過負荷による転倒が最も多いという。こうした災害を防止するには、過負荷防止装置を取り付けることが効果的だ。過負荷防止装置は過負荷となった場合に警報を発する機能、または停止する機能を持つ。厚生労働省は積載形トラッククレーンに同装置を導入する中小企業に対し、補助金を用意している。警報を発するだけのものより、停止機能を持つもののほうが安全性が高いため、停止機能を持つもののみ補助金の対象としている。補助額は安全装置の購入費用の最大2分の1とし、上限は安全装置1機当たり100万円。現在申請受け付け中で、26年1月末まで受け付けている。詳細は建設業労働災害防止協会のホームページで確認を。

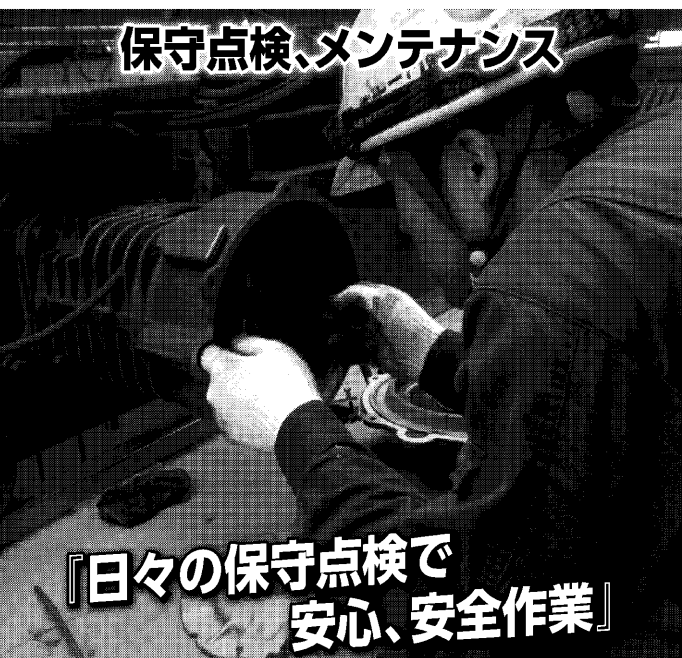
転倒防ぐ 停止機能付き過負荷防止装置 中小企業に補助金 厚労省

クレーン等安全規則第34条：0.5ton以上のクレーンは1年/回荷重試験、年次点検を義務付けられています



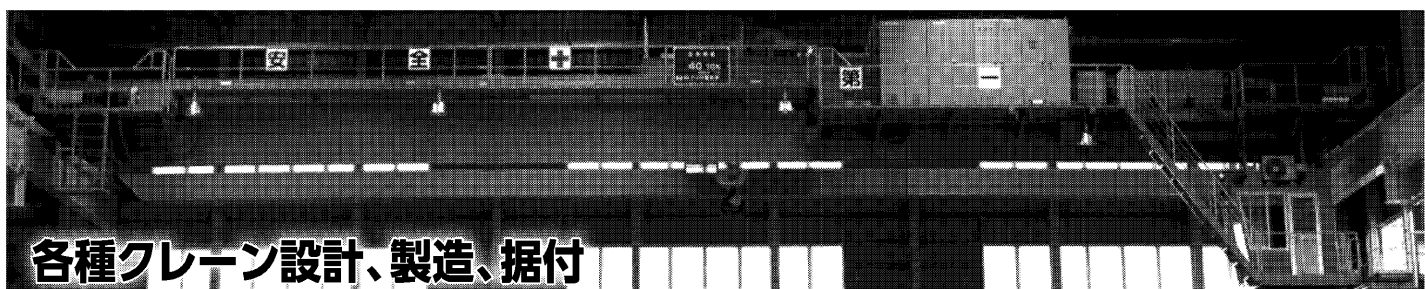
ウェイトレンタル

製作も可能



保守点検、メンテナンス

『日々の保守点検で 安心、安全作業』



各種クレーン設計、製造、据付

各種天井、橋形、特殊クレーンメーカーとして60年の実績と信頼

株式会社ナニワ製作所
ヨイナナニワ
0120-417-728

本社・本社工場 大阪市大正区三軒家東3-8-34
TEL06-6552-3658 FAX06-6552-3658
第一工場 大阪市大正区三軒家東6-8-8
第二工場 大阪市大正区三軒家東6-19-1

ナニワクレーン 検索 クリック

クレーン・メンテナンス
月例、年次点検、性能検査、無線、自動、性能アップ改修



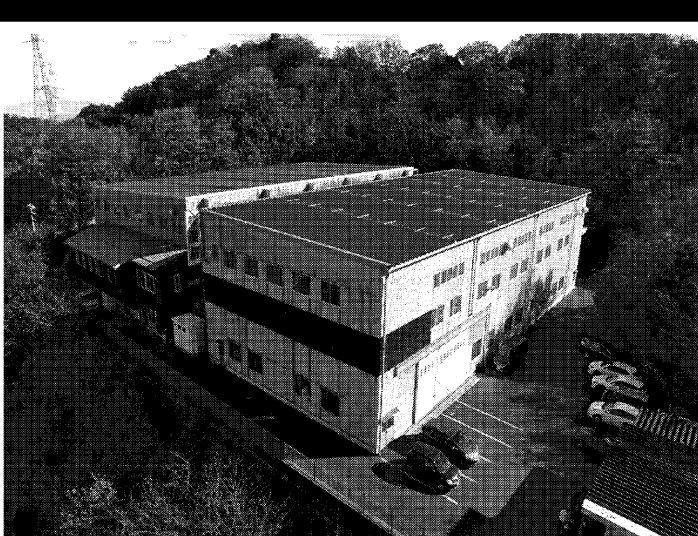
ソフトタッチの **オーエスインバータクレーン**

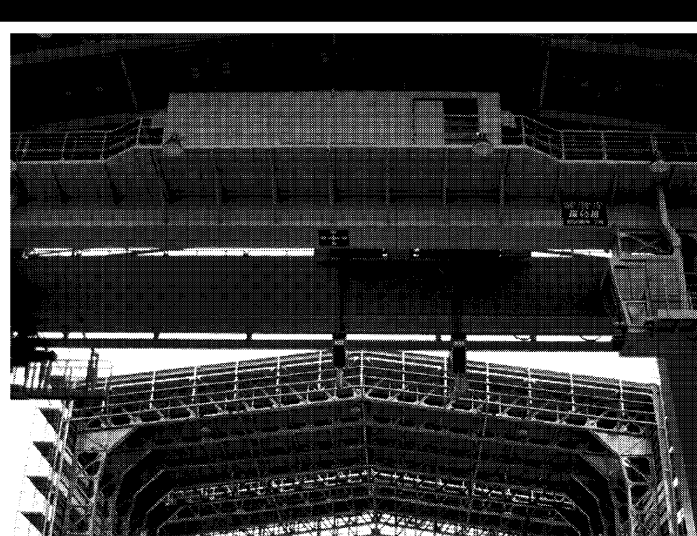
《即応体制》

《営業品目》
天井・橋形クレーン・特殊自動クレーン・コンベヤ仕分装置
電子機器製造設備機械、部品製作、舞台装置、AGV、台車

 **オーエス産業株式会社**
工場営業所 〒670-0804 姫路市保城津倉188
TEL (079) 281-1530 (代) FAX (079) 288-0928
URL <http://www.ossangyo.co.jp>

高度な技術と品質で信頼にお応えします





ISO 9001 認証取得  **株式会社 産機**

本社 〒690-0021 鳥取県松江市矢田町250-33 TEL 0852-21-3047 FAX 0852-31-5133
南工場 〒690-0021 鳥取県松江市矢田町250-55 TEL 0852-20-6212 FAX 0852-22-9901
広島営業所・東京営業所・ジャカルタ

HUMAN ENGINEERING

技術第一主義

高度な技術集団が省力化・無人化システムを提案。

各種走行クレーン及び自動搬送・省力化システムの

●設計・製作・据付業務

●既設機械の改造改善業務

●月例点検・年次点検整備保全業務

信頼のメンテナンス

豊富な技術と人材で完璧なメンテナンスを実施。突発故障も電話一本で即時対応。

AIWA

株式会社 愛和産業

本社 愛知県稲沢市日下部西町1丁目59
TEL.0567-32-6255代 0567-8185
愛知県大府市横根町坊主山11-605
TEL.0562-47-7300代 0567-0011
神奈川営業所 神奈川県平塚市西ノ宮6丁目7-60
TEL.0463-54-0234代 0564-0014
http://www.aiw.co.jp
URL aiwa@aiw.co.jp

クレーン専門メーカーとして

京和クレーン

1955年に創業以来堅実な歩みと共に蓄積したノウハウと信頼を御納入致します

株式会社 京和工業株式会社

http://www.kyowa-crane.co.jp/

本社工場 東京都江戸川区松江5丁目17番4号
TEL.03-3680-3231(代) FAX.03-3680-3238
E-mail: tokyo@kyowa-crane.co.jp

柏崎工場 新潟県刈羽郡刈羽村大字滝谷457番地
TEL.0257-45-2251(代) FAX.0257-45-2254
E-mail: kashiwazaki@kyowa-crane.co.jp

クレーン検査用ウエイト

設計・製造・販売

☑ ニーズに合わせた柔軟な形状設計

☑ 段積み合わせで所要の重量に設定可能

☑ 計量証明書付き

《フルモールド鋳造技術》
《自社JIS認証工場にて製造》

友鉄工業株式会社

友鉄 ウエイト

082-837-0490
info@tomotetsu.jp

単品重量100Kg～10tに対応

9月30日 クレーンの日

有力企業の製品・技術 順不同

菱井工業

菱井工業は1961年の創業以来、技術の進歩、向上に努め、ユーザーに役立つクレーンの設計・施工をトータルに手がけてきた。環境への取り組みも強化し、2024年に温室効果ガス（GHG）排出削減目標に対する国際認証「SBT」の認証を取得した。

25年には大阪府の「脱炭素経営宣言事業」に登録した。製造時のCO₂排出を抑えたグリーン鋼材の供給が拡大していることから、いち早く自社製クレーンへの採用を決めた。

今後、製品化されている全鉄鋼メーカーのグリーン鋼材に全面的に切り替えていく。すでに納入実績もあり、顧客の脱炭素化の対応を進める上で積極的な提案する。

愛和産業

愛和産業は1967年の創業以来、天井クレーンや多様なタイプの搬送機器を手がける。製造だけでなく、設計からメンテナンスまで一貫したサービスの提供を強みとし、「迅速・丁寧な対応」をモットーに顧客の要望に応える。あらゆるニーズに対応する搬送機器を提供している。

数十年にわたって培ってきた技術で、さまざまなメーカーの機器に対する知識を豊富に持つ。また、国家資格を持つ専門スタッフがメンテナンスをサポートしている。

天井クレーン・搬送機器の製造、装置の改造は全国で対応する。メンテナンスは東海から関東地域まで対応可能。幅広い対応力で顧客の信頼も厚いという。

タダノ

タダノは「IHI」子会社の「IHI」連搬機械から連搬システム事業を取得し、固定式クレーンを扱う新会社「タダノインフラソリューションズ」を設立した。今回の買収でタワークレーンや港湾クレーンなどの「固定式クレーン」が新たな製品群に加わる。また洋上風力分野で活躍が期待される「リングリフトクレーン」もラインアップに加わる。同社グループがドイツで生産する「ラチススーム式クレーン」などの親和性が期待でき、新事業分野への参入を目指す。

2026年12月期までの現中期経営計画で掲げる「Reaching new heights」に沿い、顧客の安全と地球環境に配慮した新たな価値を提供する。

協立電子工業

協立電子工業はクレーン用吊り荷監視カメラなどの製造・販売を手がける。創業の精神「新しい社会を創るのは人の夢である」のもと、工事現場などの死角をなくす決意で開発に取り組んでいる。

従来の有線式カメラのラインアップに、無線式のさまざまなカメラを加えており、建設現場や港湾、工場などのあらゆるクレーンに「ビジョン」を与え、安全を提供する。

「全ての現場で働く人々の安全を実現し、家待つ家族の幸せを守る」が同社の掲げる理念。目の前にある現場の危険を安全に変えるため、吊り荷監視カメラのバイオフィアとして挑戦を続ける。

象印チエンブロック

1997年に品質管理・保証の国際規格「ISO9001」をチエンブロック、ホイスト業界に先駆けて認証取得した象印チエンブロックは、クレーンやチエンブロック、レバーホイスト・荷締め機、玉掛け用具、吊り具の総合メーカー。

既成部品組み立て式クレーンシステム「象印軽レールクレーン」は、どんな場所にもいつでも設置（後付け）可能で、安全で快適な職場を低コストで実現する。軽レールの「なめらか」感覚、「フリーハンドリング」の威力、「手押し自在クレーン」の神髄を併せ持つ。

同社はテクニカル相談室を設け、ユーザーの相談にも柔軟に応じている。

京和工業

京和工業は東京都江戸川区に本社を置く、1956年設立のクレーン専門メーカー。新潟県柏崎市に製造拠点を持つ。同社のクレーンは倉庫や工場、研究施設、スクラップヤードなどさまざまな現場で採用されている。特に、大型重量物を吊り下げる場面で主に使われるクラフトロー式クレーン（建屋の西側沿いに設けられたレール上を走行するクレーン）天井式クレーンは定評があるという。

顧客のニーズに合わせて一からカスタマイズでつくるオーダー品を得意とし、細かいところに気を配れるのも強み。アフターケアも手厚く、販売後もメンテナンス、修理などを通して顧客との長い付き合いを大切にしている。

古河ユニック

古河ユニックが開発した住宅建築用ミニ・クロラークレーン「UCUBE」が、第55回機械工業デザイン賞IDEAで日本デザイン学会賞を受賞した。

4階建て住宅の施工に対応する、起伏ブーム段数が3段の「URW7035C4-HC1」と、6階建て程度の低層階ビルの施工や立体駐車場などの施工に対応する、起伏ブーム段数が5段の「同7055C4-HC1」で構成。従来の同社ミニ・クロラークレーンでは届かなかった建物の奥側へのアクセスが容易で、架空線や足場などをかわしての資材搬入作業を可能とした。工期の大幅短縮・コスト削減に加え、地域社会との共生に貢献する。

ナニワ製作所

ナニワ製作所は創業以来、「使い勝手が良く、頑丈で耐久性の強い天井クレーン」にこだわって一品一品を設計している。「定格荷重を吊っても安定走行で安心して使え、壊れない」と顧客から評価を得ており、リピート率も非常に高いという。メンテナンスにも注力しており、他社製クレーンの使い勝手を向上する改造提案も手がけている。

男性社員全員に加え、事務職の女性社員2人もクレーン運転士の国家資格を取得しているほか、技術職社員の9割が電気工事士資格を取得している。全員がプロ意識を持ちながら、顧客との良好な関係構築に努め、顧客ニーズを反映した取引に力を注いでいる。

産機

1962年に創業した産機は、クレーンを主力とする自動搬送設備のメーカー。天井・橋脚・ジブクレーン、製鉄所向け特殊クレーンなど定格荷重200tまでの中型クレーンを得意とし、全国に納入実績を持つ。

「品質、安全、信頼」を第一に考え、設計から開発、製造、施工、メンテナンス、アフターサービスまで一貫して行う。一物物なども得意で、クラフトロー（巻き上げ機）、サドル（走行装置）、吊り具装置など、付属する装置品を設計・製作する。

納入から数十年経過したクレーン部品の改造工事、レトロフィットの再設計・加工も行う。IoT化、自動化にも積極的に取り組んでいる。

オーエス産業

オーエス産業は1930年創業の老舗クレーンメーカー。150tの重量物を搬送できる天井クレーンや、トンネル工事で活躍するシールドマシン用特殊クレーンなど「大型」や「特殊」なクレーンの製造を得意とし、「クレーン」の開発から機械加工、電気工事、据え付け、メンテナンスまで社内で一貫対応できるのが同社の強み。天井クレーン（ホイスト式クレーン・クラブ式クレーン）、橋脚クレーン、特殊クレーンなどの納入台数は、関西圏を中心に全国で約700台に及ぶ。今後は高所点検作業などメンテナンス事業を強化する。他社製のクレーンを設置する企業にも積極的にサービス提案し、売り上げ拡大を図る。

スーパーツール

スーパーツールはクレーンやクランプなどの作業工具の製造・販売を手がける。10月1日に発売する「アルミ製ポータル門型クレーン（伸縮型）PMC2000AN」は、クレーン設備のない作業現場で使える人気製品の新モデル。吊り上げ荷重を2tに強化した。

揚程は2200mm・3000mm。現場に合わせて吊り上げ高さを5段階で調節できる。移動用キャスターを備えており、工場でのライン作業やトラックへの荷物の積み込みなど、さまざまな現場で活用できる。市販のトロリーやホイストも取り付け可能。本体素材にアルミを採用し軽量化することで、解体や組み立て時の作業者の負担を軽減した。

友鉄工業

友鉄工業は自社の日本産業規格（JIS）認証工場、「クレーン検査用ウエイト」を一貫生産する。フルモールド鋳造による自由度の高い形状設計に加え、3次元（3D）CADを活用して重量を高精度に管理し、最軽量100kgから最重量10tまでのウエイトを製造している。

また、さまざまなウエイトの組み合わせと段積みによる調整で高重量の検査にも柔軟に対応できる。さらに計量証明書の発行をはじめ、防錆塗装や荷崩れ防止形状を標準仕様とするなど安全性と信頼性の確保を徹底。社名やロゴの鋳出し、指定色の要望にも応え、確かな技術力で検査現場を支えている。

ウエノテックス

ウエノテックスはオーダーメイドの工場自動化（FA）システムを開発・設計・製造する。産業用クレーンでは天井クレーン、ホイスト・クラフトロー式クレーン、自動倉庫クレーンなどの設計から施工までトータルで対応し、顧客のあらゆるニーズに応えている。

クレーンの性能が各メーカーで平均化している中、新たにセンサーやIoTを取り入れた。自動搬送クレーンを開発し、廃棄物などを自動で所定の位置へ搬送できる。

さらに、同社の主力製品の破砕機と連動させることで、単純作業となる投入作業をクレーンで置き換えることが可能。作業効率が格段に向上し、顧客の省人化、生産性の向上に貢献する。

イーグルクランプ

イーグルクランプは1962年創業の吊り具専門メーカー。「作業者の安全を守り、生産性の向上に貢献する」を理念に各種吊り具の研究開発や製造販売、アフターサービスを手がける。

ヒット商品の全方向吊り上げ可能なねじ式「SBB型」は、安全性の向上に締め付け状態を確認できる機能などを装備し、2024年度のグッドデザイン賞を受賞した。国土交通省の新技術情報提供システム（NETIS）にも登録されている。このほか、多種多様な製品をラインアップする。

11月30日まで対象のコンクリート二次製品用クランプを特別価格で販売する「激得!!キヤンペーン」を実施。詳細は同社営業所へ。

モノづくりフェア2025

10月15日～17日
マリンメッセ福岡

九州のモノづくりを支える産業総合展「モノづくりフェア2025」が10月15日から17日までの3日間、マリンメッセ福岡（福岡市博多区）A館・B館で開催される。事前来場登録者、中学生以下は無料。モノづくりフェアは九州最大級の製造業に特化した展示会。毎年10月に福岡市で開催、今回41回目。「つくるをつくる一現場が世界を変える」をテーマに据え、目標来場者数は3日間で2万5000人。今年、モノづくりコーナーに「半導体関連ブロック」を新設した。半導体関連企業の出展により、さらなる展示内容の拡充が期待される。展示場内では九州各県の支援機関のコーディネーターが常駐する

「九州まとまるバビリオン」で50社が出展し、過去最大規模となる。さらに「大規模商談会」と銘打った自動車部品、その他モノづくり全般に関わる商談会を特設会場にて実施する。参加企業は受発注合わせて約300社となる。

毎年好評の無料セミナーは約30本開催し、製造業の最新動向を紹介する。特別セミナーでは日産自動車九州の芦澤俊介社長が「モビリティによる社会課題解決への貢献」をテーマに講演する。

来場登録・聴講申し込みはモノづくりフェア公式ウェブサイトへ▶

日本のタワークレーンの歩みとともに

クレーンひと筋、75年の経験と蓄積された技術から生れる製品

●建設工事用タワークレーン

●工場設備用クレーン

株式会社 小川製作所

代表取締役社長 菊地 秀治

本社・工場 〒270-1407 千葉県白井市内330 白井第二工業団地
TEL.047(497)0765(代表) FAX.047(497)0802
http://www.ogawa-ss.co.jp/

ウェブでニュースはいかがですか？

ニューススイッチとは？

日刊工業新聞社のニュースをはじめとするコンテンツを、もっと新鮮に、親しみやすくお届けするサイトです。

少し硬い、難しいニュースをわかりやすく、または詳しく。話題のニュースから、小さいけれどもちょっと面白いニュースを幅広い読者へ。そしてニュースを起点に、コミュニティーを少しずつ作っていただくと考えています。

独自のテーマ

ニューススイッチ編集部が独自に企画・取材した特集記事をはじめ、新聞とは一味違う切り口でニュースをお伝えします。

記者が記事選定・コメントをプラス

日刊工業新聞の記者がテーマごとに気になる記事を紹介、コメント。記事や取材背景を解説します。

ニューススイッチ

NEWSWITCH

http://newsswitch.jp/

日刊工業新聞社